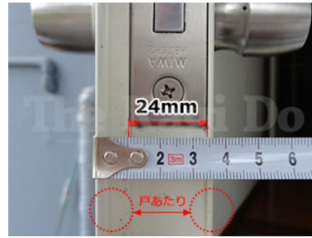


⚠️ 取付け作業前にご確認下さい。

- 錠前製品の特質上「未開封」「未使用」であっても、返品交換をお受けできない商品がございます。必ず、実際に設置されている錠前と、交換用製品の形状や寸法が適合しているかご確認下さい。
- 作業中はストッパーなどでドアを開けた状態で行って下さい。
- 取付けされている固定ネジは再利用します。無くさないよう保管して下さい。



1. 旧型MIWA HBZ・HBZSPタイプの握り玉錠のノブ部分をW2-DACに交換する手順を説明していきます。



2. 扉厚を測ります。図のように、戸当たりがあるドアの場合は、戸当たり分を引いた幅になります。今回は「約24mm」になります。

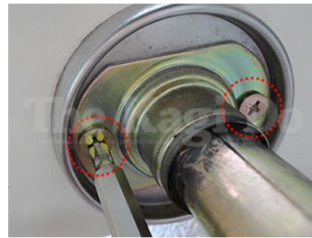


3. 既存のノブを外し、詳しい適合条件を確認しましょう。HBZタイプは室内ノブの付根にある穴に、精密ドライバーなど先端が尖った細い金属棒を差し込みながら、ノブを手前に引くと外れます。

MIWA HBZタイプの取替方法を見る



4. 室内ノブが外れます。



5. 室内ノブの座金を外します。室外ノブを固定している2か所の固定ネジをプラスドライバーで外します。



6. 室内ノブの座金を外れます。室外ノブが落ちないように注意しましょう。



7. 室外ノブが外れます。



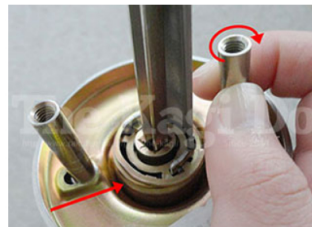
8. 図はピッチ「44mm」で、ロールバック片(半月板)は1ヶ所の「ワンスピンドル」タイプになっています。



9. 実際にW2-DACを取付けていきます。W2-DACの室内ノブに装着されているプレートを反時計回りに回しながら取り外します。



10. 外したプレートは図のように「44mm」または「50mm」の穴があいています。



11. プレートに合わせ室外ノブの取付脚の位置を変更します。「44mm」の場合は取付脚を中

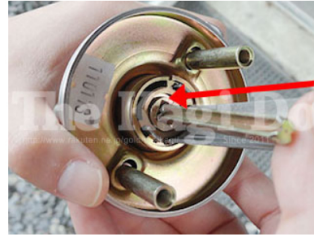


12. 室外ノブとプレートを重ねて位置の調整をしましょう。図のように取付脚が重なって見える

心のロックンバー側に「50mm」の場合は逆に
外側に寄せます。※ラジペンチなどで回すとよ
うに固定できます。



13. 扉厚やスピンドルの仕様によって、ロールバック片を入れ替える必要がある場合は、既に付いているロールバック片は力を入れて引っ張ると取れます。



14. 対応するロールバック片を【手順12】で抜いた片と同じ箇所に、カチッと手応えを感じるまで押し込みます。



15. 横から見て、ロールバック片の肩口とロックンバーの台座が揃うようにしましょう。



16. 室内側に取替え用プレートを付けます。



17. 室内ノブを取付ける際は、サムターンは「縦向き」（開錠状態）にします。



18. 根本まで挿れたらローズ部分を回して取付けます。



19. 室内ノブの穴に付属の専用レンチを引っ掛けて閉め、完了です。

[▲ページトップ](#)